

東京都受動喫煙防止条例 (仮称) 骨子案

の概要についてお知らせします

受動喫煙は、がんや虚血性心疾患、脳卒中等の発症など、健康に影響を与えることが科学的に明らかにされています。

誰もが快適に過ごせる街を実現するために

「人」に着目した対策

「働く人や子ども」を受動喫煙から守る

本条例の目的は、
屋内での受動喫煙による健康影響を未然に防止し、
誰もが快適に過ごせる街を実現するため、
「人」に着目した都独自の新しいルールを
構築していくことです。

健康影響を受けやすい子どもや、
受動喫煙を防ぎにくい立場である従業員の方を
受動喫煙から守ることを対策の柱としています。

今後、関係する方々の御意見を伺いながら、条例案を取り
まとめてまいります。

子どもを受動喫煙から守ります

敷地内禁煙 (屋外喫煙場所設置**不可**)

幼稚園・保育所・小学校・
中学校・高等学校



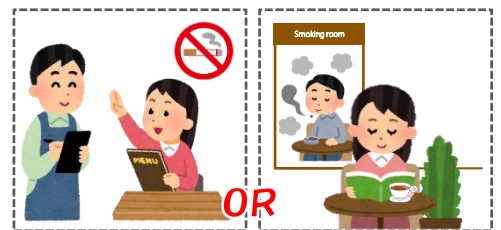
- 喫煙可能な場所（喫煙室など）への
子どもの立ち入り禁止
- 児童・生徒への禁煙教育
(喫煙・受動喫煙の健康影響に関する教育) の徹底

従業員を受動喫煙から守ります

原則屋内禁煙（禁煙または喫煙専用室設置）

多数の者が利用する施設等

例) 老人福祉施設・運動施設・
ホテル・事務所・船舶・鉄道・
従業員がいる飲食店



従業員がいない飲食店（禁煙または喫煙）

従業員がいない飲食店は、
事業者が屋内の全部または
一部を喫煙をすることができる
場所として定めることができる。

